

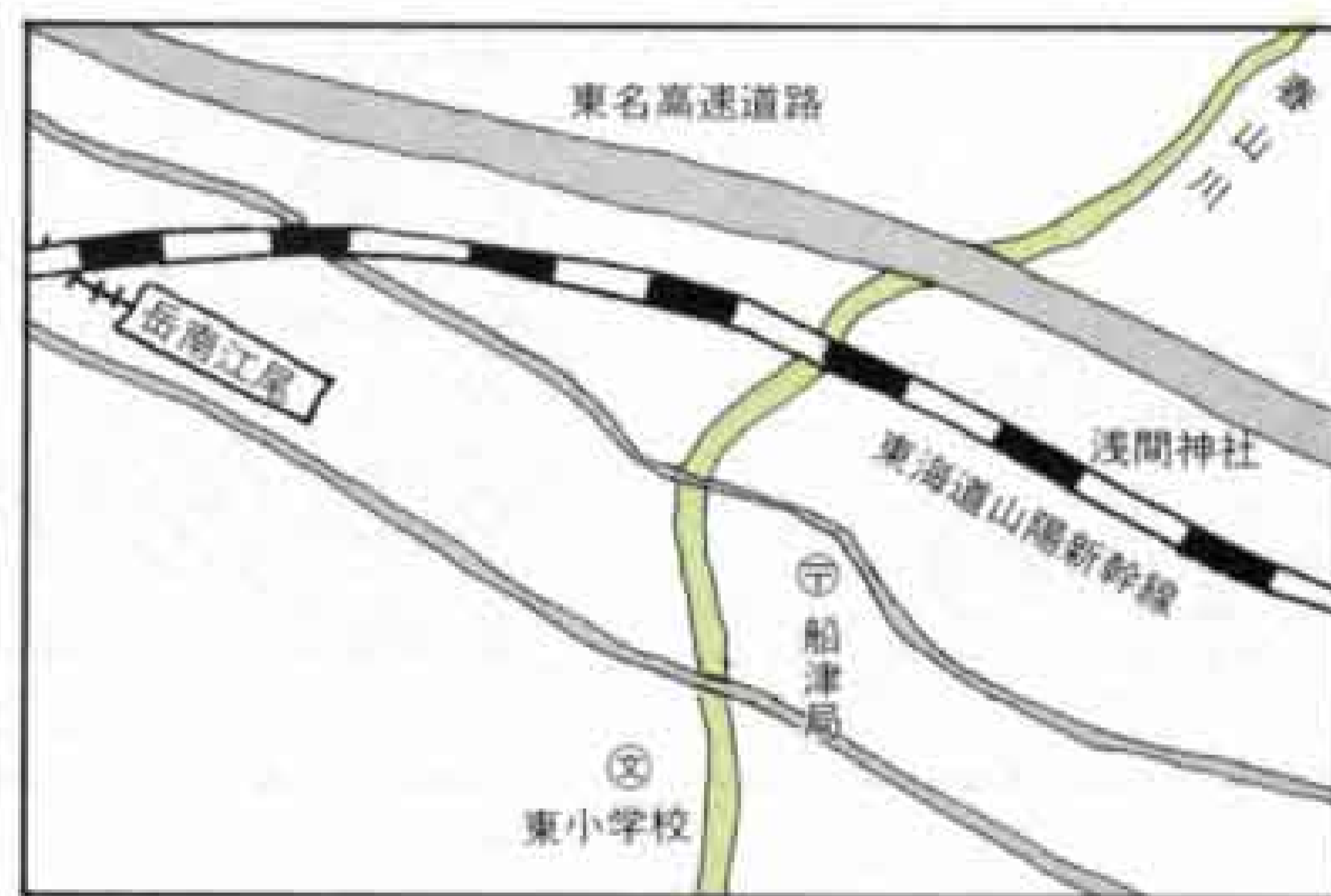


# 私の好きな風景

8

スケッチ画と文  
富士市美術協会  
吉村欽吾さん  
富士市富士岡一六一

## 愛鷹山



平成二年、静岡県教育委員会の依頼で、愛鷹山を描くことになった。愛鷹山は、何といつても秋の景色が美しい。

作品の添え書きに、次のような言葉を書いた。「愛鷹山は壮年期の連山で、青紫色に輝く秋の山肌は特に美しい。黄金色の稲田と、山の色との対比は見事であり、ふもとから流れくる春山川の流れに写す山容に、秋のすがすがしさを感じる」と。

スケッチの場所は富士市の東端、西船津の南で、農道にかかっている春山川の橋の上であった。

三年後の十一月十四日、再びこの橋の上に立つ。春山川の川底は、土砂の上に草が一面に茂り、わずかに水の流れの気配がするのみで、愛鷹山の容姿は写つておらず、自然の移り変わりの大きさに、今さらながら驚きを覚えた。

### こちら編集室

折に触れ、自分の能力の限界が見えてしまいます。がむしゃらで、人様の怖さを知らず突き進む若さがあるときには、こんなことはなかったのに。考えると、ある一定の年齢を過ぎると、自分のことが見えてくるように思うのです。

広報紙もしかし。一年間を振りかえれば気になる箇所ばかりで、情けないったらありゃあしない！

立ち直りは、取材先で知り合うさまざまな人との出会い。生き方にも通ずるお話を伺っていると、「元気のもと」がいただけるのです。

ロゼシアターがオープンして、少し離れてロゼシアターの中を見はや1ヵ月。皆さんは、もうお出掛けになりましたか。

先日の夜、ロゼシアターの前を車で通りかかったらびっくりした。正面玄関横のケヤキにイルミネーション、ガス灯に明かりがともり、

少し離れてロゼシアターの中を見ていると、壁にかかったタペストリーが色鮮やかに浮かび上がって、とてもすてきな空間になっていた。ケヤキのイルミネーションは年末までの予定。あなたの大事な人とぜひ出かけてみてはいかが。

広報ふじは環境にやさしい再生紙を使っています